

令和7年度
東京の水道に関するお客さま意識調査
報告書＜概要版＞

令和8年(2026年)3月

東京都水道局

目次

第1章 調査概要	1
1. 調査目的.....	1
2. 調査設計.....	1
3. 調査内容.....	1
4. 回収結果.....	2
5. 調査結果を見る上での注意及び用語の説明.....	2
6. 回答者の属性.....	3
第2章 調査結果の分析	5
I. 水道の使用状況.....	5
1. 水道水の飲み方.....	5
2. 水道水をそのまま飲まない理由.....	6
II. 水質.....	7
1. 水道水の水質の総合的な満足度.....	7
2. 水道水の味、においの満足度.....	8
3. 水道水の「安全性」の満足度.....	9
4. 水道水の「安全性」を満足と考える理由.....	10
5. 水道水の「安全性」を不満と考える理由.....	11
6. 不安を感じる水質項目.....	12
7. 「あんぜん・あんしん水質指標」の認知度.....	13
8. 「あんぜん・あんしん水質指標」の分かりやすさ.....	14
III. 危機管理対策等.....	15
1. 災害時給水ステーションの認知度.....	15
2. 災害時給水ステーションを認知した手段.....	15
3. 震災等に備えた「飲料水」の備蓄の有無.....	16
4. 「飲料水」を備蓄していない理由.....	16
5. くみ置きした水の殺菌効果に関する認知度.....	17
6. 災害発生時に欲しい水道に関する情報.....	17
IV. 環境対策等.....	18
1. 環境負荷低減に向けた取組の認知度.....	18
2. 特に力を入れるべき環境負荷低減に向けた取組.....	18
3. 環境対策に投じるコスト.....	19
4. 水道水源林の適切な管理の認知度.....	19
V. 水道水源林について.....	20
1. 「水道水源林ポータルサイトみずふる」の利用状況等.....	20
2. 水源地ふれあいのみちの訪問経験.....	20

VI. 水道料金について.....	21
1. 水道料金に関する認知内容	21
2. 水道料金の水準.....	21
3. 水道料金が高いと感じる理由.....	22
4. 特別措置の認知度.....	22
5. 特別措置の認知経路	23
6. 特別措置実施の印象	23
VII. 広報等.....	24
1. スマートフォンアプリの利用状況	24
2. スマートフォンアプリを利用した理由	24
3. スマートフォンアプリを利用しない理由	25
4. 水道事業に関する情報の入手媒体	25
5. 今後力を入れてほしい媒体	26
6. 水道事業に関して知りたい情報.....	26
7. 水道水の水質に関する関心	27
VIII. その他.....	28
1. グループ経営の認知度.....	28
2. グループ経営に関して知りたい情報.....	28
IX. 水道事業に関する意見や要望.....	29

第1章 調査概要

1. 調査目的

本調査は、水道事業に対するお客さまの評価や要望を的確に把握することで、今後の水道事業運営の基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査設計

項目	内容
調査地域	東京都 23 区及び多摩地域統合 26 市町
対象者	対象地域内の水道使用者
標本数	11,000 標本(家庭 7,000 標本、事業所 4,000 標本)
調査方法	水道使用者の中から層化無作為抽出法により抽出した対象者に対し、郵送法(インターネット回答併用)にて実施
調査時期	令和7年 10 月 1 日(水)から 10 月 17 日(金)まで

3. 調査内容

本調査の設問内容は、次のとおりである。

- (1) 水道の使用状況及び水質について
- (2) 危機管理対策等について
- (3) 環境対策等について
- (4) 水道水源林ポータルサイトみずふるについて
- (5) 水道料金について
- (6) 広報等について
- (7) その他
- (8) 水道事業に関するご意見・ご要望について(自由記述)

4. 回収結果

有効回収数 4,435 件

(内訳:一般家庭用 3,432 件、事業所用 799 件、一般家庭と事業所併用 188 件、無回答 16 件)

配布数	回収方法	有効回収数	回収率 (対配布数)	回収割合 (対回収数)
11,000 件	(合計)	4,435 件	40.3%	100.0%
	郵送回収	2,216 件	20.2%	50.0%
	Web 回収	2,219 件	20.3%	50.0%

5. 調査結果を見る上での注意及び用語の説明

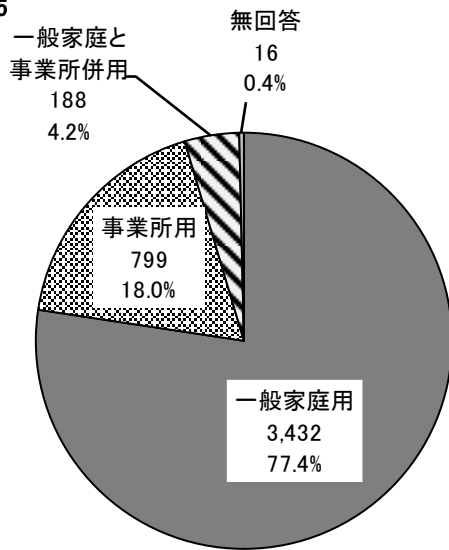
- (1) n は設問に対する回答者数で、比率算出の基数を示す(number of case の略)。
- (2) クロス集計では、性別、年齢別などの分類軸の無回答は省略していることがある。そのため、分析軸の(n)の合計が全体の合計と一致しない場合がある。
- (3) 調査回答者の属性別のクロス集計によっては、回答者数(n)の少ないもの(30 未満)がある。このような場合は1件の回答により回答比率が大きく変化し、標本誤差が大きくなるため、参考として表示するにとどめ、本文中のコメントでは触れていない場合がある。
- (4) クロス集計における分析の軸(=表側)が対になっている項目(例 性別、地域別など)の比較や時系列の比較では、比率の差を中心に記述している。その表現は%ではなく、ポイントで表すこととする。
- (5) グラフの結果数値(%)は、小数点以下第2位を四捨五入し、結果を小数点以下第1位まで表示しているため、内訳の合計が全体の計に一致しないことがある。
またグラフの一部では回答数 0(0.0%)を省略しているものがある。
- (6) 本文中、複数の選択肢をまとめて表示する場合には、末尾に(計)と表示。
例)「満足(計)」は「満足」及び「やや満足」の合計
- (7) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。

6. 回答者の属性

(1) 全体

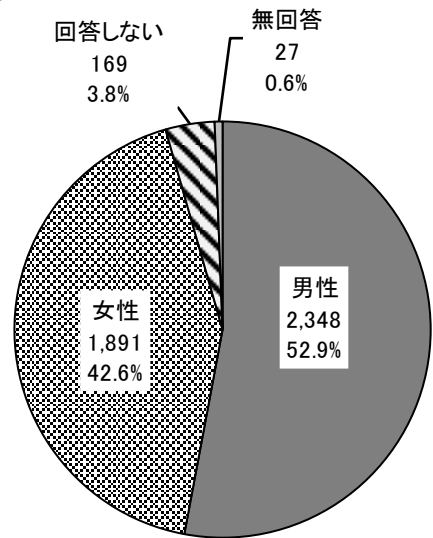
① 利用区分

n=4,435



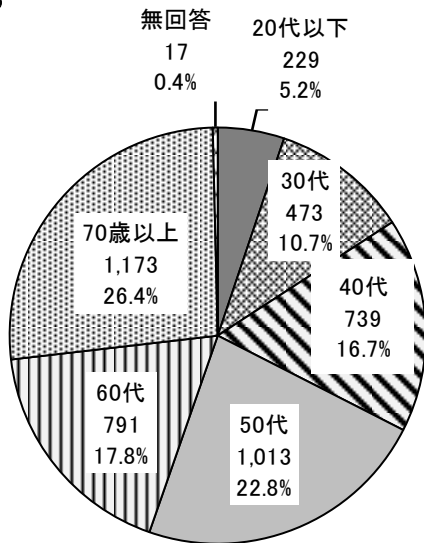
② 性別

n=4,435



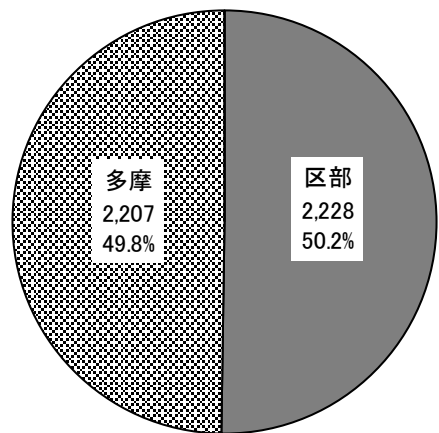
③ 年齢

n=4,435



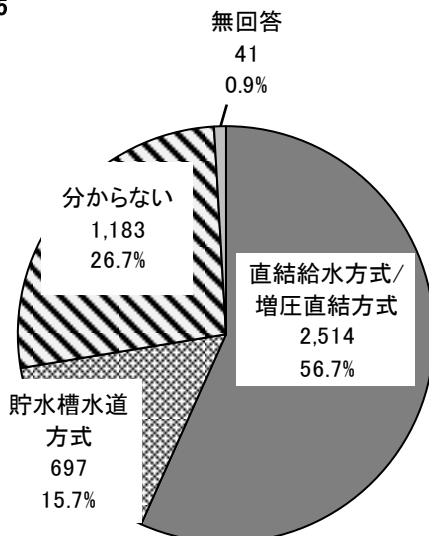
④ 地域

n=4,435



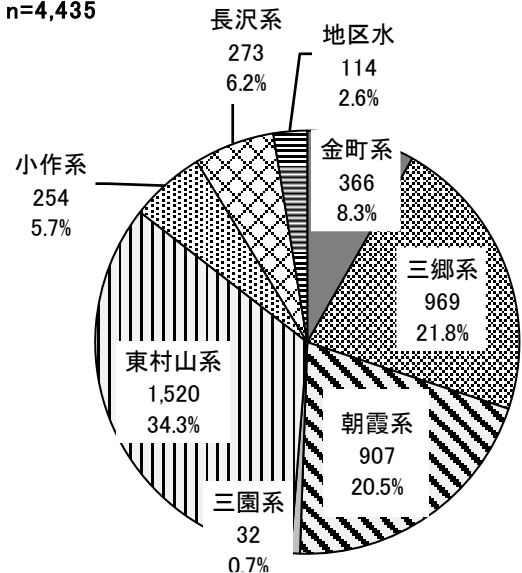
⑤ 給水方式

n=4,435



⑥ 給水エリア

n=4,435



(2) 利用区分別

① 性別

	総数	男性	女性	回答しない	無回答
一般家庭	3,432件 100.0%	1,739件 50.7%	1,615件 47.1%	65件 1.9%	13件 0.4%
事業所	799件 100.0%	493件 61.7%	204件 25.5%	97件 12.1%	5件 0.6%
一般家庭と 事業所併用	188件 100.0%	113件 60.1%	70件 37.2%	5件 2.7%	0件 0.0%
無回答	16件 100.0%	3件 18.8%	2件 12.5%	2件 12.5%	9件 56.3%

② 年齢

	総数	20代以下	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答
一般家庭	3,432件 100.0%	205件 6.0%	403件 11.7%	528件 15.4%	657件 19.1%	596件 17.4%	1,039件 30.3%	4件 0.1%
事業所	799件 100.0%	24件 3.0%	57件 7.1%	188件 23.5%	308件 38.5%	150件 18.8%	69件 8.6%	3件 0.4%
一般家庭と 事業所併用	188件 100.0%	0件 0.0%	13件 6.9%	23件 12.2%	46件 24.5%	45件 23.9%	61件 32.4%	0件 0.0%
無回答	16件 100.0%	0件 0.0%	0件 0.0%	0件 0.0%	2件 12.5%	0件 0.0%	4件 25.0%	10件 62.5%

③ 地域

	総数	区部	多摩	無回答
一般家庭	3,432件 100.0%	1,694件 49.4%	1,738件 50.6%	0件 0.0%
事業所	799件 100.0%	412件 51.6%	387件 48.4%	0件 0.0%
一般家庭と 事業所併用	188件 100.0%	112件 59.6%	76件 40.4%	0件 0.0%
無回答	16件 100.0%	10件 62.5%	6件 37.5%	0件 0.0%

④ 給水方式

	総数	直圧直結給水方式 ／増圧直結給水方式	貯水槽 水道方式	わからない	無回答
一般家庭	3,432件 100.0%	2,033件 59.2%	394件 11.5%	991件 28.9%	14件 0.4%
事業所	799件 100.0%	356件 44.6%	268件 33.5%	159件 19.9%	16件 2.0%
一般家庭と 事業所併用	188件 100.0%	123件 65.4%	34件 18.1%	30件 16.0%	1件 0.5%
無回答	16件 100.0%	2件 12.5%	1件 6.3%	3件 18.8%	10件 62.5%

⑤ 給水エリア

	総数	金町系	朝霞系	三郷系	三園系	長沢系	小作系	東村山系	地区水
一般家庭	3,432件 100.0%	274件 8.0%	664件 19.3%	764件 22.3%	25件 0.7%	211件 6.1%	197件 5.7%	1,207件 35.2%	90件 2.6%
事業所	799件 100.0%	59件 7.4%	191件 23.9%	156件 19.5%	6件 0.8%	52件 6.5%	45件 5.6%	269件 33.7%	21件 2.6%
一般家庭と 事業所併用	188件 100.0%	29件 15.4%	49件 26.1%	46件 24.5%	1件 0.5%	8件 4.3%	11件 5.9%	41件 21.8%	3件 1.6%
無回答	16件 100.0%	4件 25.0%	3件 18.8%	3件 18.8%	0件 0.0%	2件 12.5%	1件 6.3%	3件 18.8%	0件 0.0%

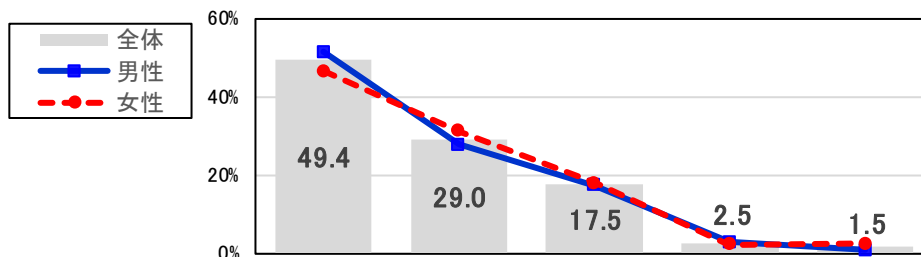
第2章 調査結果の分析

I. 水道の使用状況

1. 水道水の飲み方

- 全体では、「そのまま飲む(冷やして、または沸かして飲む場合を含む)」が 49.4%と約5割で最も高い。「浄水器を通して飲む」29.0%、「水道水は飲まず、ボトルウォーター(サーバー水を含む)を飲む」17.5%と続く。
- 性別では、男性は「そのまま飲む(冷やして、または沸かして飲む場合を含む)」が 51.5%と女性の46.5%より高い。
- 年齢別では、40代は「浄水器を通して飲む」が5割近くで他に比べて高く、70歳以上では「そのまま飲む(冷やして、または沸かして飲む場合を含む)」が6割を超えている。
- 地域別では、区部は「水道水は飲まず、ボトルウォーター(サーバー水を含む)を飲む」が 20.2%で多摩の14.9%より高い。

問6. 普段、ご自宅又は事業所で水道水をどのように飲まれていますか(お茶やコーヒー等味を付けて飲む場合も含む)。【1つだけに○】

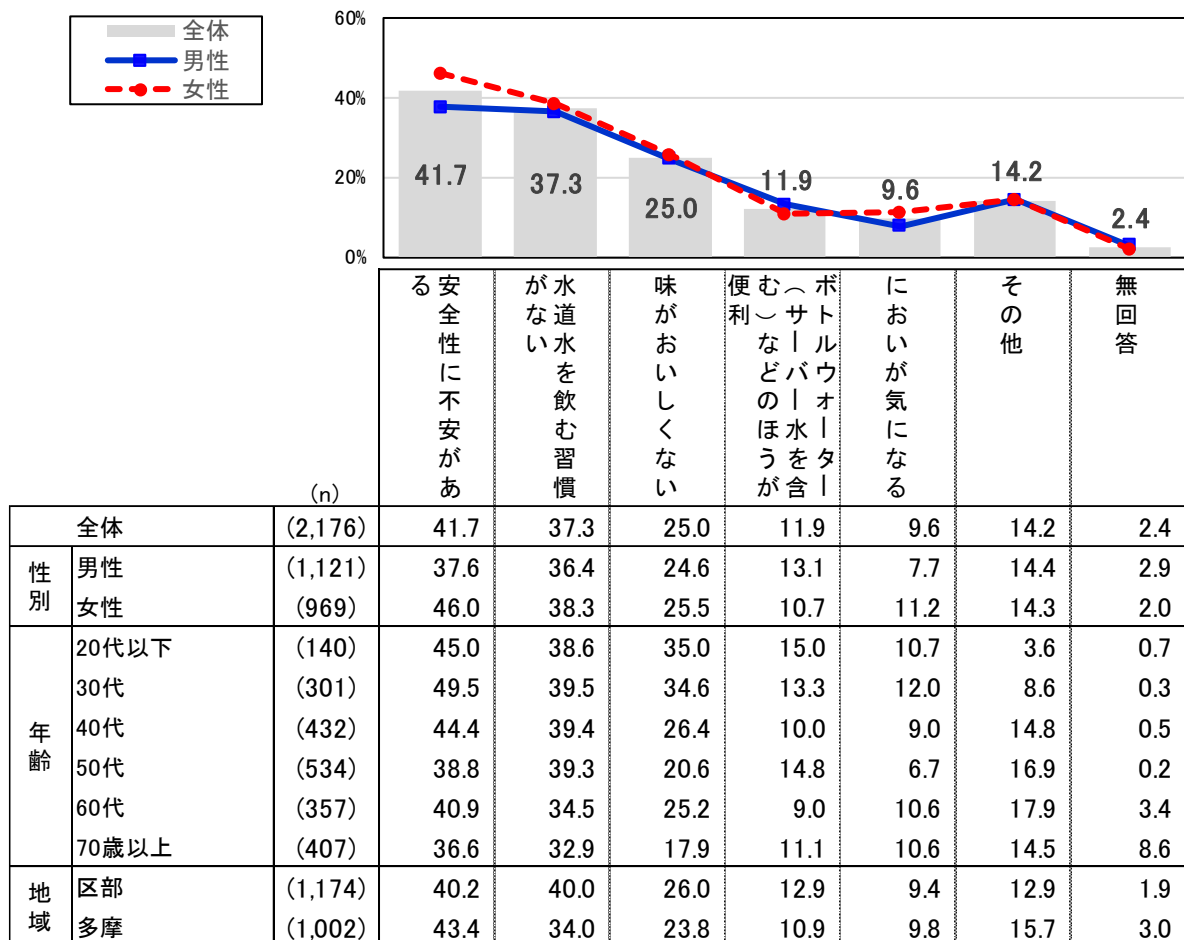


		(n)	そのまま飲む(冷やして、または沸かして飲む場合を含む)	浄水器を通して飲む	ボトルウォーター(サーバー水を含む)	その他	無回答
	全体	(4,435)	49.4	29.0	17.5	2.5	1.5
性別	男性	(2,348)	51.5	27.8	17.3	2.7	0.7
	女性	(1,891)	46.5	31.1	17.9	2.2	2.3
年齢	20代以下	(229)	38.9	26.6	32.3	2.2	0.0
	30代	(473)	35.3	30.2	31.3	2.1	1.1
	40代	(739)	41.0	37.5	19.8	1.2	0.5
	50代	(1,013)	45.8	32.1	17.5	3.2	1.5
	60代	(791)	53.0	28.4	13.9	2.8	1.9
	70歳以上	(1,173)	63.4	21.7	10.4	2.6	1.9
地域	区部	(2,228)	45.7	30.3	20.2	2.3	1.6
	多摩	(2,207)	53.1	27.8	14.9	2.7	1.4

2. 水道水をそのまま飲まない理由

- 全体では、「安全性に不安がある」が 41.7%で最も高く、「水道水を飲む習慣がない」が 37.3%、「味がおいしくない」が 25.0%と続く。
- 性別では、女性は「安全性に不安がある」が4割台半ばと男性より高い。
- 年齢別では、若い年代ほど「安全性に不安がある」と感じており、30代では5割となっている。「味がおいしくない」も20代以下と30代で3割台半ばと他の年代に比べ高い傾向がみえる。
- 地域別では、区部は「水道水を飲む習慣がない」が多摩より高い傾向がみられたが、他の項目では大きな差はみられなかった。

問6-1. 水道水を(そのまま)飲まない理由は何ですか。【当てはまるもの全てに○】



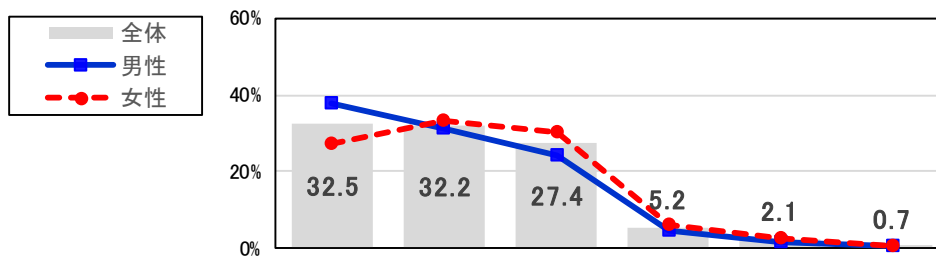
II. 水質

1. 水道水の水質の総合的な満足度

- 全体では、「満足」の 32.5%と「やや満足」の 32.2%を合計した「満足(計)」は 64.7%と6割台半ばとなっている。一方「やや不満」の 5.2%と「不満」の 2.1%を合計した「不満(計)」は 7.3%と1割未満となっている。
- 性別では、男性の「満足(計)」は 69.0%で女性の 60.4%より高い。
- 年齢別では、年代があがるほど、概ね「満足(計)」も高くなり、70 歳以上では7割台半ばとなっている。

問7. 東京の水道水について、飲み水としての水質の総合的な満足度をお答えください。

【1つだけに○】



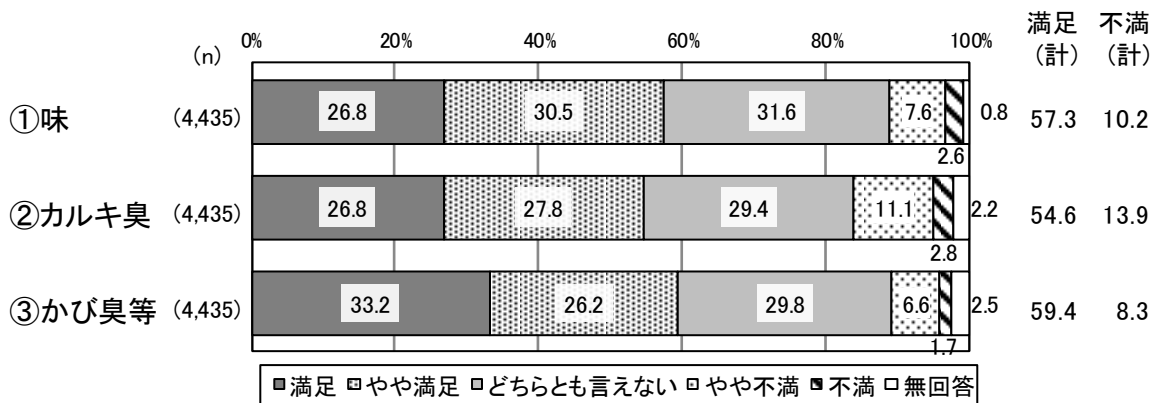
		(n)	満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	無回答	満足(計)	不満(計)
	全体	(4,435)	32.5	32.2	27.4	5.2	2.1	0.7	64.0	8.0
性別	男性	(2,348)	37.7	31.3	24.4	4.3	1.7	0.6	68.3	6.3
	女性	(1,891)	27.2	33.2	30.2	6.2	2.6	0.5	59.2	10.2
年齢	20代以下	(229)	20.5	35.8	32.8	7.9	3.1	0.0	53.4	17.7
	30代	(473)	21.6	27.9	37.4	8.0	4.9	0.2	52.0	12.1
	40代	(739)	29.1	31.7	29.5	7.0	2.6	0.1	58.4	9.7
	50代	(1,013)	32.4	32.2	29.1	4.3	1.6	0.4	62.8	8.4
	60代	(791)	33.4	33.2	25.9	5.3	1.5	0.6	65.5	7.2
	70歳以上	(1,173)	41.2	33.0	20.3	3.2	1.4	1.0	75.1	3.6
地域	区部	(2,228)	32.0	32.6	27.6	5.1	2.2	0.6	63.6	7.3
	多摩	(2,207)	33.0	31.7	27.1	5.4	2.0	0.8	64.7	9.1

2. 水道水の味、においの満足度

- ①味、②カルキ(塩素)臭、③かび臭等(カルキ臭以外)のそれぞれについて満足度をみると、いずれの項目についても「満足(計)」は5割台半ば～6割近くとなっている。
一方、「不満(計)」は、③かび臭等については8.3%と低いが、①味で10.2%、②カルキ臭では13.9%となっており、②カルキ臭の「不満(計)」が最も高い。
- 性別では、3項目とも男性の方が女性より「満足(計)」が高い。
- 年齢別では、30代を除き、3項目とも年代があがるほど、「満足(計)」も高くなっている。
- 地域別では、大きな差はないが、3項目とも多摩の方が区部より「満足(計)」が高い。

問8. 東京の水道水について、以下の項目の満足度をお答えください。

【各項目について、1つだけに○】

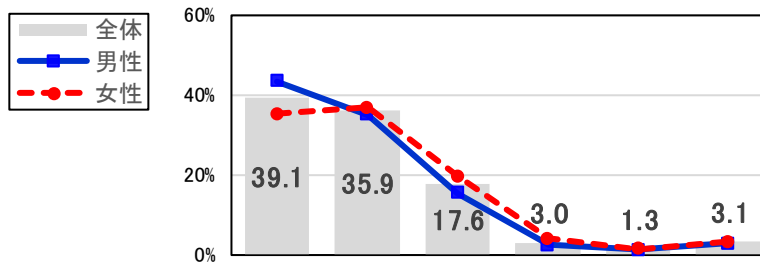


	(n)	①味			②カルキ(塩素)のにおい			③かび臭等のにおい		
		満足(計)	どちらとも言えない	不満(計)	満足(計)	どちらとも言えない	不満(計)	満足(計)	どちらとも言えない	不満(計)
全体	(4,435)	57.3	31.6	10.2	54.6	29.4	13.9	59.4	29.8	8.3
性別										
男性	(2,348)	60.9	30.5	8.2	58.5	27.2	12.6	62.6	28.2	7.4
女性	(1,891)	54.0	32.9	12.2	51.0	31.6	15.0	57.1	31.0	9.1
年齢										
20代以下	(229)	44.1	36.2	19.6	43.2	34.5	22.3	53.3	32.3	14.4
30代	(473)	38.0	41.9	20.1	40.8	34.2	24.9	49.9	36.6	13.5
40代	(739)	52.2	34.1	13.6	53.5	30.9	15.5	58.8	31.3	9.7
50代	(1,013)	57.8	32.8	8.9	55.2	31.3	13.1	60.8	30.9	7.6
60代	(791)	60.1	31.2	8.0	59.3	28.7	10.8	63.4	28.3	7.1
70歳以上	(1,173)	69.1	24.5	4.9	60.0	24.5	9.3	61.4	25.9	5.5
地域										
区部	(2,228)	55.7	32.5	11.2	53.1	30.0	14.9	57.8	31.5	8.4
多摩	(2,207)	59.0	30.8	9.3	56.2	28.7	12.8	61.0	28.0	8.2

3. 水道水の「安全性」の満足度

- 全体では、「満足」39.1%、「やや満足」35.9%を合計した「満足(計)」は 75.0%で、7割台半ばと高い。一方「やや不満」3.0%と「不満」1.3%を合計した「不満(計)」は 4.3%と僅かだった。
- 性別では、男性の「満足(計)」は 78.3%で女性の 72.0%より高い。
- 年齢別では、20 代以下と 70 歳以上で「満足(計)」が8割近くとなっている。
- 地域別では、満足度に大きな違いはみられなかった。

問9. 東京の水道水の「安全性」について満足度をお答えください。【1 つだけに○】



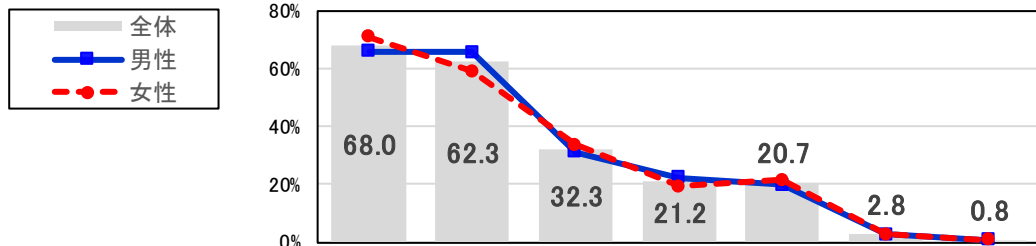
		(n)	満足	やや満足	などどちらとも言えない	やや不満	不満	無回答	満足(計)	不満(計)
	全体	(4,435)	39.1	35.9	17.6	3.0	1.3	3.1	75.0	4.3
性別	男性	(2,348)	43.4	34.9	15.4	2.3	1.2	2.7	78.3	3.5
	女性	(1,891)	35.2	36.8	19.5	3.9	1.4	3.2	72.0	5.3
年齢	20代以下	(229)	34.5	43.2	17.5	3.5	0.4	0.9	77.7	3.9
	30代	(473)	36.6	36.6	19.7	4.9	1.7	0.6	73.2	6.6
	40代	(739)	37.1	35.9	20.7	2.4	2.4	1.5	73.0	4.8
	50代	(1,013)	40.9	34.2	19.2	3.2	1.1	1.6	75.1	4.3
	60代	(791)	39.2	35.4	17.2	3.5	1.4	3.3	74.6	4.9
	70歳以上	(1,173)	41.1	36.0	13.9	2.1	0.9	6.1	77.1	3.0
地域	区部	(2,228)	39.6	37.2	16.8	2.4	0.9	3.1	76.8	3.3
	多摩	(2,207)	38.6	34.5	18.4	3.6	1.8	3.0	73.1	5.4

4. 水道水の「安全性」を満足と考える理由

○ 全体では、「定められた基準を満たしていると思うから」が 68.0%、「水道水について信頼しているから」が 62.3%と高い。「適切な水質検査が行われているから」が 32.3%、「高度浄水処理等の高度な技術を導入しているから」が 21.2%と続く。

○ 年齢別では、40代で「定められた基準を満たしていると思うから」が7割を超え、他より高い。

問9-1. そのように考える理由は何ですか。【当てはまるもの全てに○】

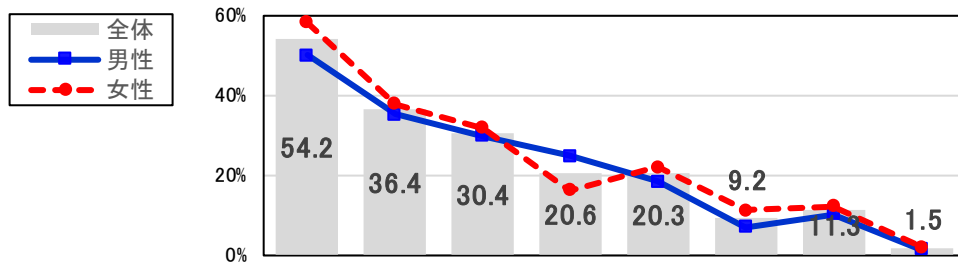


		(n)	らた定められた基準を満	し水道水について信頼	わ適切な水質検査が行	いるから	高度浄水処理等の高	るが十分に提供されて情	安全	その他	無回答
	全体	(3,325)	68.0	62.3	32.3	21.2	20.7	2.8	0.8		
性別	男性	(1,840)	65.9	65.7	31.1	22.4	19.8	2.8	0.8		
	女性	(1,362)	70.9	59.0	33.6	19.2	21.5	2.8	0.8		
年齢	20代以下	(178)	54.5	60.1	19.7	12.4	19.1	2.2	0.0		
	30代	(346)	63.3	49.7	23.1	12.4	19.4	3.8	0.0		
	40代	(539)	72.0	56.4	26.7	18.9	21.5	1.7	0.4		
	50代	(760)	67.9	62.1	32.9	23.8	22.0	3.3	0.5		
	60代	(590)	68.5	65.6	34.7	24.7	16.6	2.7	0.7		
	70歳以上	(904)	69.7	69.4	39.6	23.2	22.6	2.8	1.9		
地域	区部	(1,711)	68.7	60.5	32.6	23.4	21.6	2.9	0.7		
	多摩	(1,614)	67.2	64.2	32.0	18.9	19.7	2.7	0.9		

5. 水道水の「安全性」を不満と考える理由

- 全体では、「水道管の老朽化への不安があるから」が 54.2%と最も高い。「水源の水質に不安があるから」が 36.4%、「塩素等の薬品使用に不安があるから」が 30.4%と続く。
- 年齢別では、20代以下は他の年代と異なり、「水道管の老朽化への不安があるから」26.5%より、「水源の水質に不安があるから」が 42.9%と高い。「なんとなく」も 36.7%と他の年代より高くなっている。
- 地域別では、「水源の水質に不安があるから」は多摩の方が高く、「塩素等の薬品使用に不安があるから」は区部の方が高くなっている。

問9-2. そのように考える理由は何ですか。【当てはまるもの全てに○】

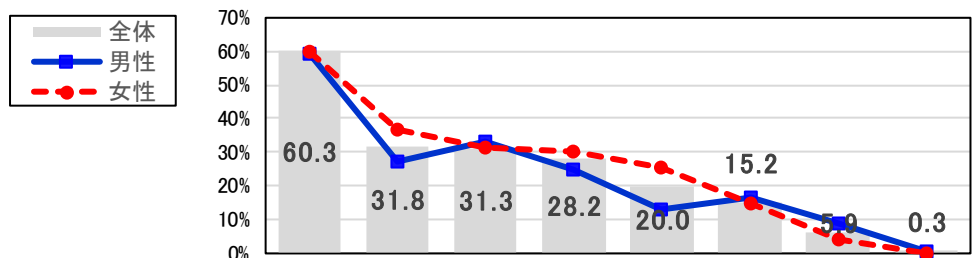


		(n)	不安が水道管の老朽化への	水源の水質に不安があるから	塩素等の薬品使用に不安があるから	なんとなく	貯水槽の管理状況が不安だから	放射性物質による影響に不安があるから	その他	無回答
	全体	(974)	54.2	36.4	30.4	20.6	20.3	9.2	11.3	1.5
性別	男性	(445)	49.9	35.1	29.7	24.7	18.4	7.0	10.1	1.3
	女性	(469)	58.2	37.7	31.8	16.2	22.0	11.1	12.2	1.9
年齢	20代以下	(49)	26.5	42.9	16.3	36.7	8.2	4.1	14.3	0.0
	30代	(124)	54.0	43.5	29.0	25.0	25.0	6.5	10.5	0.0
	40代	(189)	54.0	33.9	39.7	21.7	21.2	7.4	14.3	0.0
	50代	(237)	62.0	35.9	24.9	18.6	20.7	12.2	12.2	0.8
	60代	(175)	56.0	33.7	30.9	16.0	18.9	10.9	10.3	1.7
	70歳以上	(198)	51.0	36.4	32.3	18.7	20.7	9.1	8.1	5.1
地域	区部	(447)	55.3	32.4	34.5	23.9	23.9	10.3	8.9	1.3
	多摩	(527)	53.3	39.8	26.9	17.8	17.3	8.3	13.3	1.7

6. 不安を感じる水質項目

- 全体では、「有機フッ素化合物(PFOS 等)」が 60.3%と最も高い。「消毒副生成物(トリハロメタン等)」が 31.8%、「具体的には不安を感じる水質項目はないが、何となく不安」が 31.3%と続く。
- 年齢別では、20 代以下を除き「有機フッ素化合物(PFOS 等)」に対する不安の割合が最も高いが、20 代以下では、「具体的には不安を感じる水質項目はないが、何となく不安」が 42.9%と最も高い。
- 地域別では、「有機フッ素化合物(PFOS 等)」を除く全ての項目において、区部の方が不安を感じる割合が高い結果となった。「有機フッ素化合物(PFOS 等)」については、区部が 47.6%、多摩が 69.0%と顕著な差がみられた。

問9-3. 不安を感じる水質項目を具体的にお答えください。【当てはまるもの全てに○】

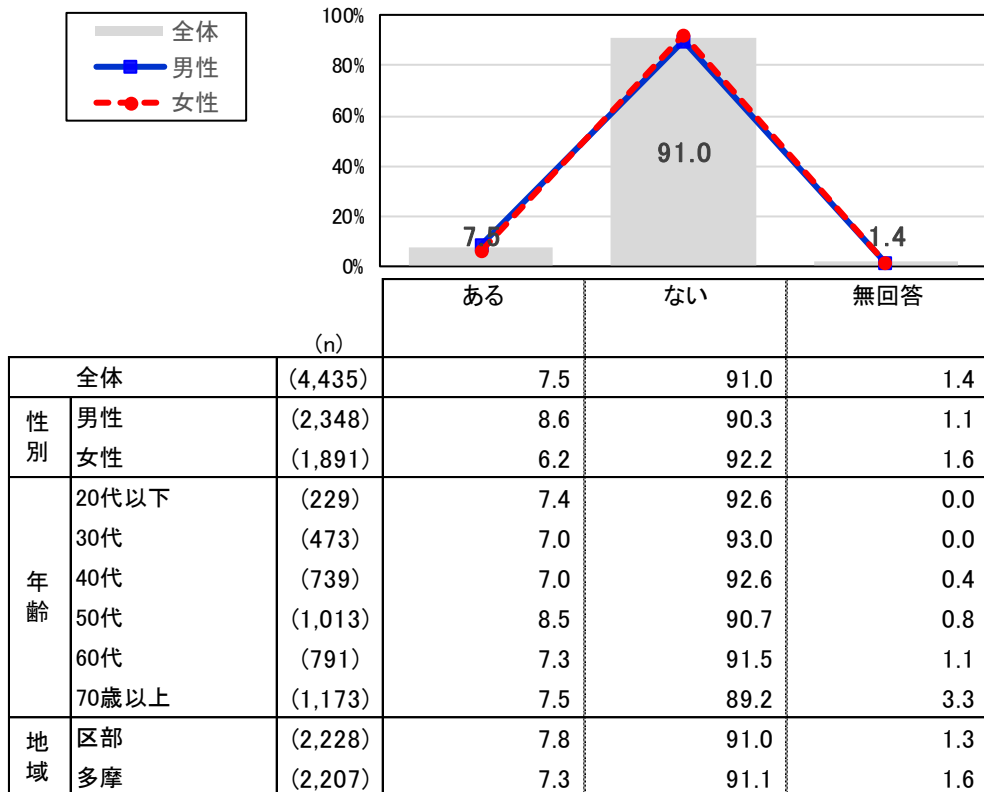


		(n)	(有機フッ素化合物等)	消毒副生成物(トリハロメタン等)	具体的には不安を感じる水質項目はないが、何となく不安	細菌やウイルス	放射性物質	農薬	その他	無回答
	全体	(355)	60.3	31.8	31.3	28.2	20.0	15.2	5.9	0.3
性別	男性	(156)	59.0	26.9	33.3	25.0	12.8	16.7	9.0	0.6
	女性	(177)	59.9	36.7	31.6	29.9	25.4	14.7	4.0	0.0
年齢	20代以下	(21)	38.1	19.0	42.9	28.6	14.3	0.0	4.8	0.0
	30代	(54)	57.4	25.9	37.0	35.2	16.7	11.1	5.6	0.0
	40代	(64)	62.5	31.3	26.6	29.7	29.7	14.1	6.3	0.0
	50代	(85)	67.1	38.8	28.2	28.2	20.0	12.9	8.2	0.0
	60代	(59)	59.3	30.5	28.8	22.0	18.6	22.0	1.7	0.0
	70歳以上	(72)	59.7	33.3	33.3	26.4	16.7	20.8	6.9	1.4
地域	区部	(145)	47.6	32.4	37.2	36.6	22.8	16.6	8.3	0.0
	多摩	(210)	69.0	31.4	27.1	22.4	18.1	14.3	4.3	0.5

7. 「あんぜん・あんしん水質指標」の認知度

- 全体では、「ない」が91.0%で9割を超えている。
- 性別、年齢共に明確な傾向はみられなかった。
- 地域では、明確な傾向はみられなかった。

問10. 水道局では、水道水の安全性を分かりやすく示すため、「あんぜん・あんしん水質指標」を設定して、局HPで公表しています。この指標をご覧になられたことがありますか。【1つだけに○】

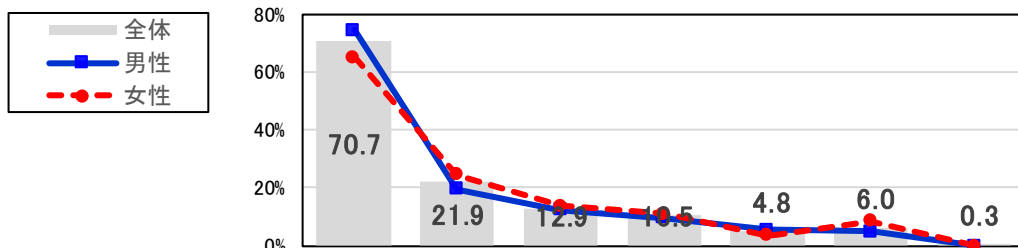


8. 「あんぜん・あんしん水質指標」の分かりやすさ

- 全体では、「水道水の安全性が分かりやすく、理解できる」が 70.7%でほぼ7割、「専門的で安全性がよく分からない」が 21.9%で2割を超えている。
- 性別では、「水道水の安全性が分かりやすく、理解できる」は男性が 74.6%、女性が 65.3%で男性の方が高い。「専門的で安全性がよく分からない」は女性が 24.6%、男性が 19.4%で女性の方が高い。年齢別では「水道水の安全性が分かりやすく、理解できる」は 30 代以下で6割近くにとどまるが、40 代以上では7割程度と高い。
- 地域別では、「専門的で安全性がよく分からない」は区部が 24.3%、多摩が 19.3%で区部の方が高い。

問10-1 「あんぜん・あんしん水質指標」の分かりやすさについてお伺いします。

【当てはまるもの全てに○】



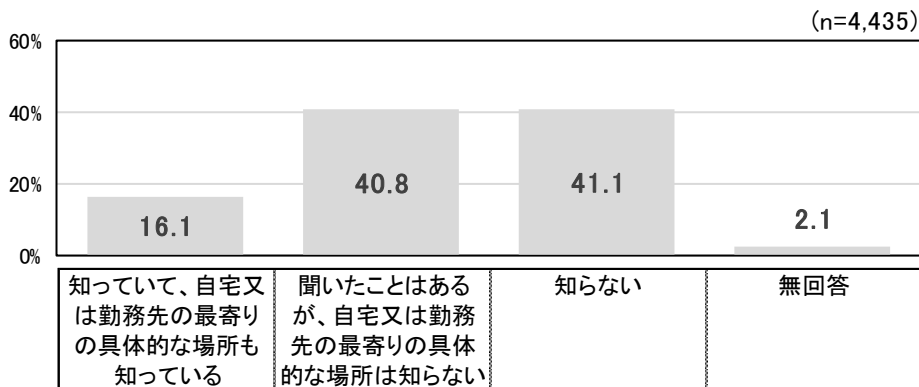
		(n)	水道水の安全性が分かる	専門的で安全性がよく分からない	本指標に掲げられた場所が	図や表の見方が分かる	現在の追加指標以外の項目	その他	無回答
	全体	(334)	70.7	21.9	12.9	10.5	4.8	6.0	0.3
性別	男性	(201)	74.6	19.4	12.4	9.5	5.5	5.0	0.0
	女性	(118)	65.3	24.6	13.6	11.0	3.4	8.5	0.0
年齢	20代以下	(17)	58.8	35.3	5.9	11.8	0.0	0.0	0.0
	30代	(33)	57.6	45.5	15.2	9.1	3.0	9.1	0.0
	40代	(52)	75.0	17.3	13.5	11.5	1.9	5.8	0.0
	50代	(86)	69.8	14.0	12.8	10.5	4.7	7.0	1.2
	60代	(58)	74.1	20.7	17.2	8.6	8.6	1.7	0.0
	70歳以上	(88)	73.9	21.6	10.2	11.4	5.7	8.0	0.0
地域	区部	(173)	71.1	24.3	12.7	10.4	4.0	6.4	0.0
	多摩	(161)	70.2	19.3	13.0	10.6	5.6	5.6	0.6

Ⅲ. 危機管理対策等

1. 災害時給水ステーションの認知度

○ 災害時給水ステーションの認知度では、「知らない」が 41.1%、「聞いたことはあるが、自宅又は勤務先の最寄りの具体的な場所は知らない」が 40.8%と共に4割程度であった。「知っていて、自宅又は勤務先の最寄りの具体的な場所も知っている」は 16.1%にとどまる。

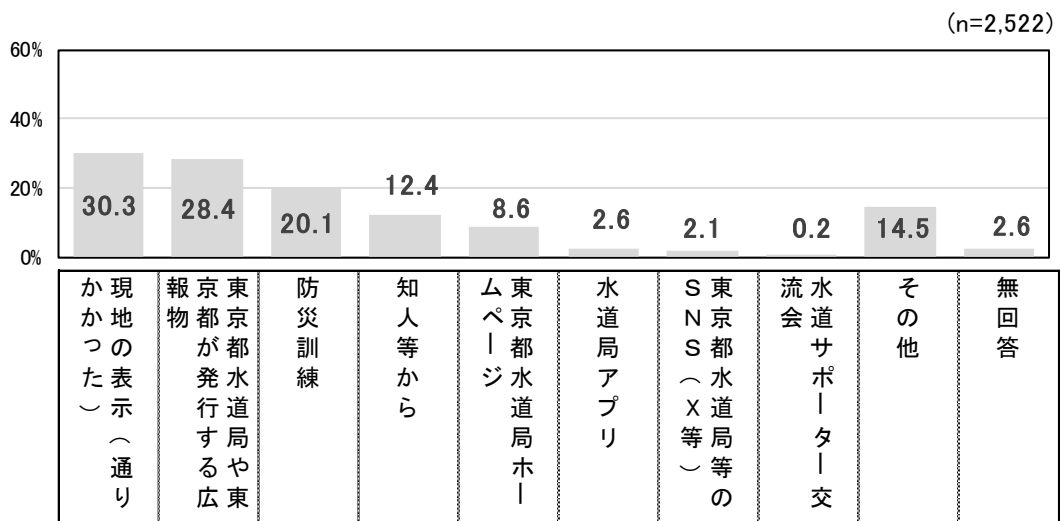
問11. 災害等で断水した際に、災害時給水ステーション(給水拠点)で飲用水が手に入ることをご存じですか。【1つだけに○】



2. 災害時給水ステーションを認知した手段

○ 災害時給水ステーションを認知した手段では、「現地の表示(通りかかった)」が 30.3%で最も高く、「東京都水道局や東京都が発行する広報物」が 28.4%で続く。

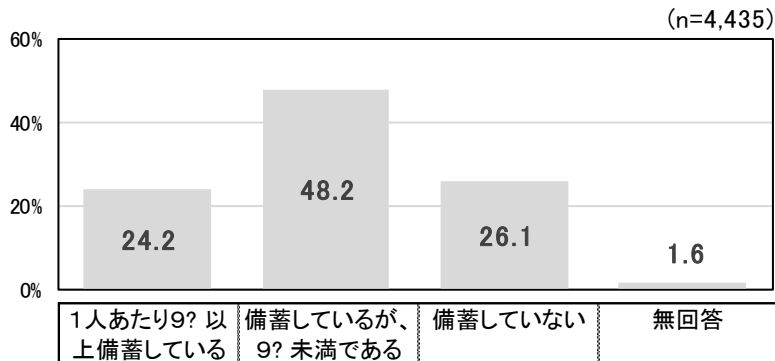
問11-1. 災害時給水ステーション(給水拠点)を何でお知りになりましたか。【当てはまるもの全てに○】



3. 震災等に備えた「飲料水」の備蓄の有無

○ 震災等に備えた「飲料水」の備蓄の有無では、「備蓄しているが、9ℓ未満である」が48.2%と最も高く、「1人あたり9ℓ以上備蓄している」(24.2%)と合計した「備蓄している(計)」は72.4%と7割を超えている。

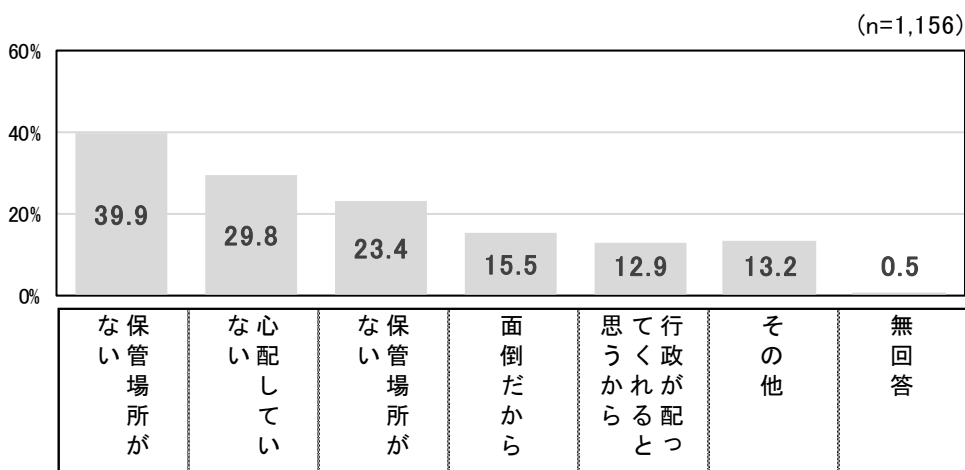
問12. 東京都水道局では、災害に備えた飲料用としての水のくみ置き(1人あたり9リットル[=1日3ℓ×3日分])をお願いしております。日頃から震災等に備えて「飲料水」を備蓄していますか。
【1つだけに○】



4. 「飲料水」を備蓄していない理由

○ 備蓄していない理由では、「保管場所がない」(39.9%)が最も高く、「面倒だから」(29.8%)、「必要なことを知らなかった」(23.4%)と続く。

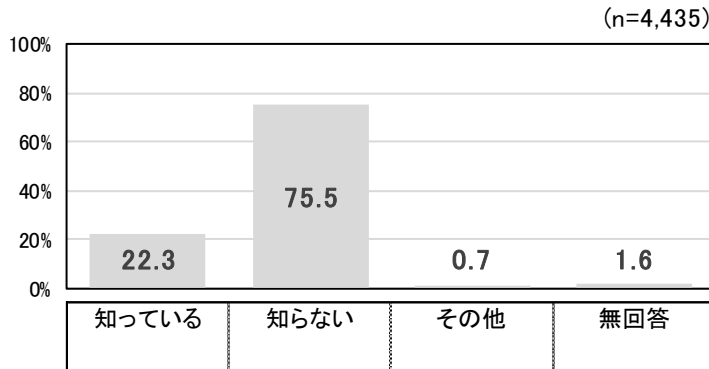
問12-1. 備蓄していない理由を教えてください。【当てはまるもの全てに○】



5. くみ置きした水の殺菌効果に関する認知度

○ くみ置きした水の殺菌効果に関する認知度では、「知っている」は 22.3%と2割超えにとどまる。

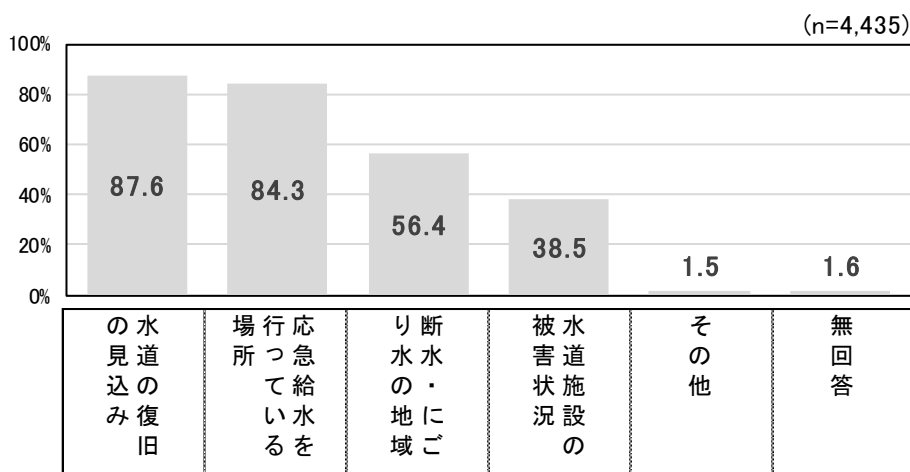
問13. くみ置きした水は常温で3日間程度、冷蔵庫が使用できれば10日間程度、塩素の殺菌効果が持続することをご存知ですか。【1つだけに○】



6. 災害発生時に欲しい水道に関する情報

○ 災害発生時に欲しい水道に関する情報では、「水道の復旧の見込み」が 87.6%、「応急給水を行っている場所」が 84.3%と8割を超えている。「断水・にごり水の地域」が 56.4%、「水道施設の被害状況」が 38.5%と続く。

問14. 水道に関して、災害発生時に欲しい情報は何ですか。【当てはまるもの全てに○】

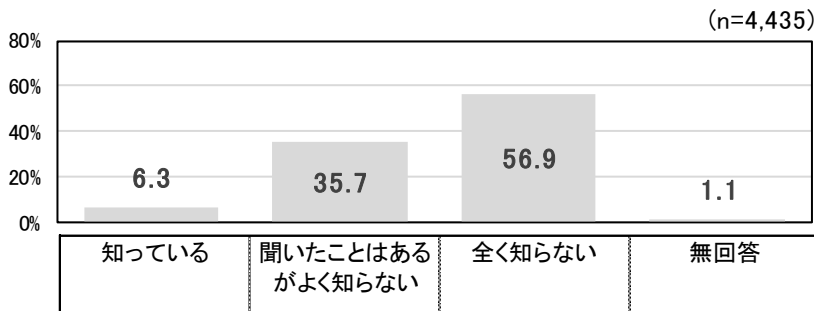


IV. 環境対策等

1. 環境負荷低減に向けた取組の認知度

○ 環境負荷低減に向けた取組では、「知っている」(6.3%)と「聞いたことはあるがよく知らない」(35.7%)を合計した「認知(計)」は 42.0%と4割を超えている。

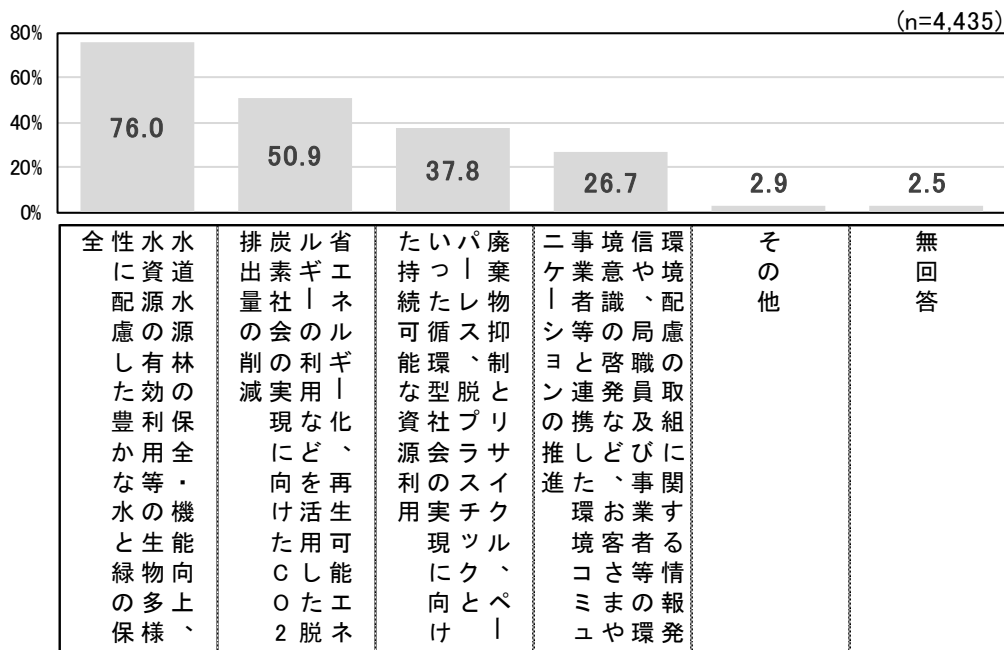
問15. 水道局は、お客さまに水道水をお届けする過程で、年間約8億 kWh という大量の電気を使用するなど環境に影響を与えています。そのため、省エネ化の推進や再生可能エネルギーの導入、水道水源林の保全など、環境負荷の低減に継続的に取り組んでいます。水道局がこのような環境対策に取り組んでいることをご存知ですか。【1 つだけに○】



2. 特に力を入れるべき環境負荷低減に向けた取組

○ 特に力を入れるべき環境負荷低減に向けた取組では、「水道水源林の保全・機能向上、水資源の有効利用等の生物多様性に配慮した豊かな水と緑の保全」が 76.0%と最も高く、次いで、「省エネルギー化、再生可能エネルギーの利用などを活用した脱炭素社会の実現に向けたCO2排出量の削減」が 50.9%、「廃棄物抑制とリサイクル、ペーパーレス、脱プラスチックといった循環型社会の実現に向けた持続可能な資源利用」が 37.8%、「環境配慮の取組に関する情報発信や、局職員及び事業者等の環境意識の啓発など、お客さまや事業者等と連携した環境コミュニケーションの推進」が 26.7%と続いた。

問16. 水道局が東京都水道局環境5か年計画 2025-2029 に位置付け、取組を進めている次のうち、特に力を入れるべきと感じるものはどれですか。【当てはまるもの全てに○】

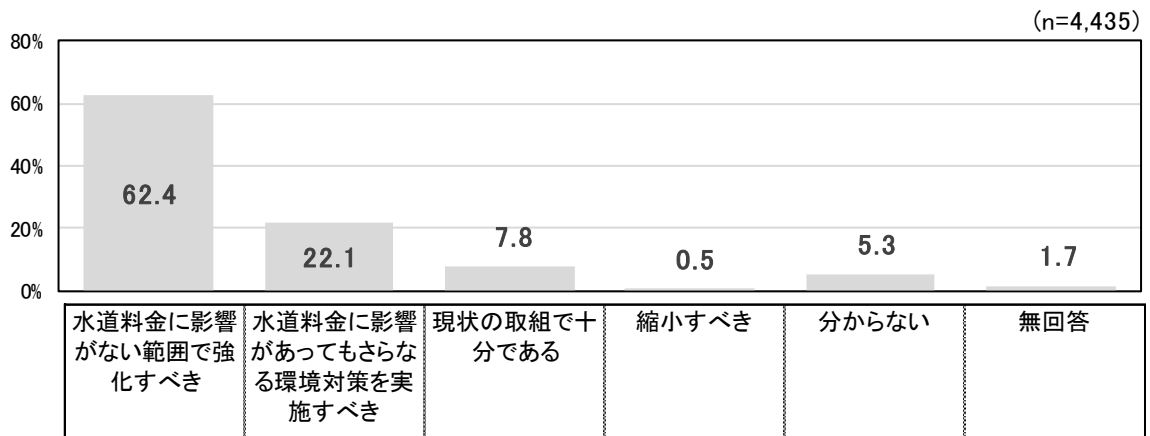


3. 環境対策に投じるコスト

○ 環境対策に投じるコストでは、「水道料金に影響がない範囲で強化すべき」が 62.4%と6割を超える。「水道料金に影響があってもさらなる環境対策を実施すべき」は 22.1%にとどまる。

問17. 水道局では、給水収益からコストを投じて環境対策に取り組んでいます。世界的にさらなる環境対策が求められている中で、今後、どのように取り組むのが良いと感じますか。

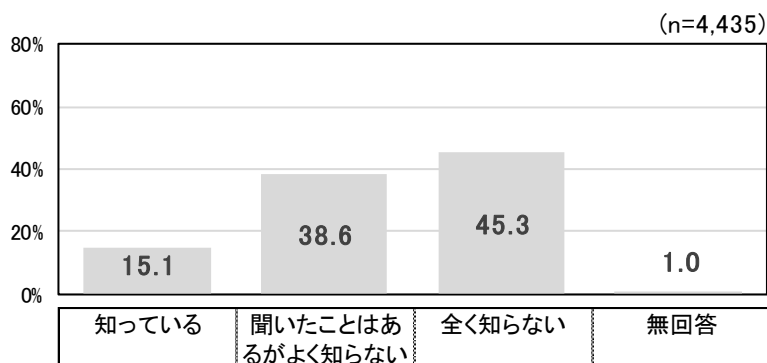
【1つだけに○】



4. 水道水源林の適切な管理の認知度

○ 水道水源林の適切な管理の認知度では、「知っている」(15.1%)と「聞いたことはあるがよく知らない」(38.6%)を合計した「認知(計)」は 53.7%と5割を超える。

問18. 水道局では、雨水を蓄え、きれいな水に浄化する等の機能を持つ水道水源林の適正な管理に取り組んでいます。ご存知ですか。【1つだけに○】

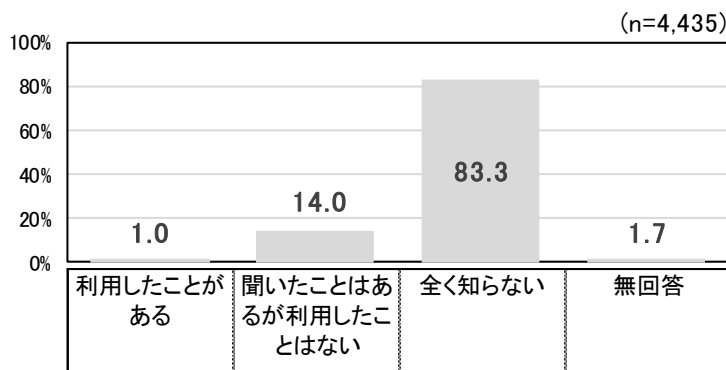


V. 水道水源林について

1. 「水道水源林ポータルサイトみずふる」の利用状況等

○「水道水源林ポータルサイトみずふる」の利用状況では、「利用したことがある」は 1.0%と非常に低い。「聞いたことはあるが利用したことはない」(14.0%)と合計した「認知(計)」でも 15.0%と1割台半ばにとどまっている。

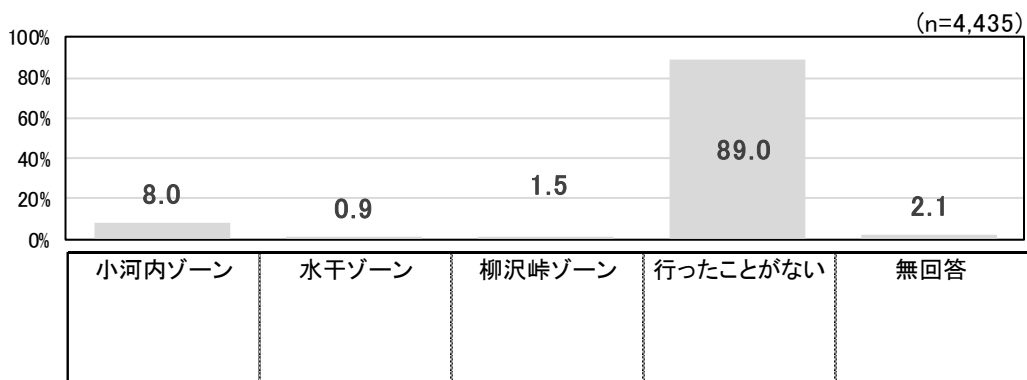
問19. 東京都水道局では、水道水源林の魅力を発信し、より多くの方とコミュニケーションを図るため「水道水源林ポータルサイトみずふる」を令和4年3月に開設しましたが、ご存知ですか。また、実際に利用されたことがありますか。【1つだけに○】



2. 水源地ふれあいのみちの訪問経験

○水源地ふれあいのみちの訪問経験では、「行ったことがない」が 89.0%と最も高く、行ったことがあるふれあいのみちとしては「小河内ゾーン」が 8.0%で最も高かった。

問20. 水道局では、水源林の豊かな自然を身近に感じることができる散策路として水源地ふれあいのみち(小河内ゾーン、水干ゾーン、柳沢峠ゾーン)を整備しています。行ったことがあるふれあいのみちをすべて教えてください。【当てはまるもの全てに○】

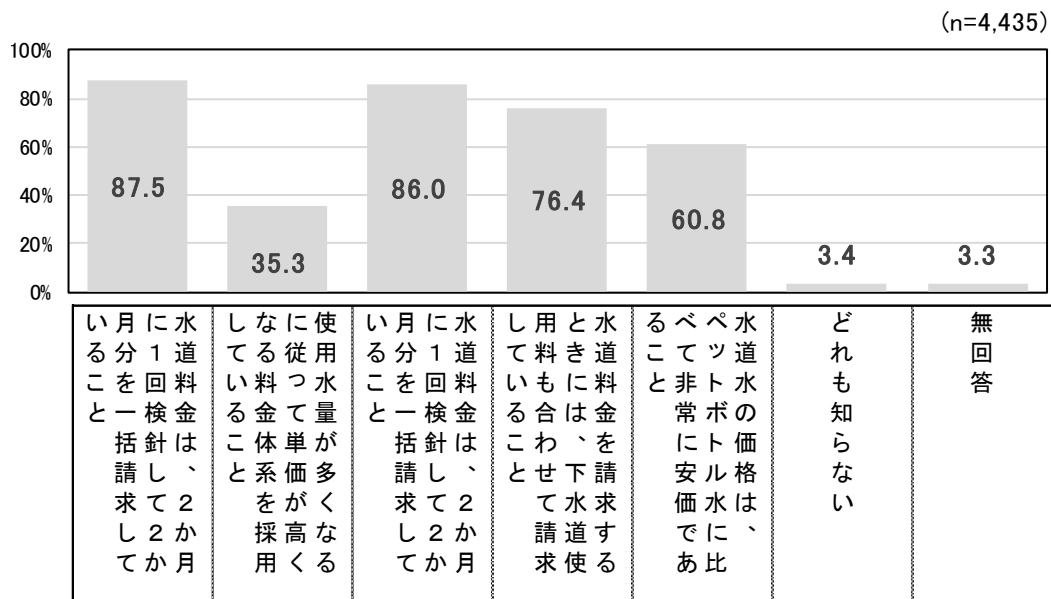


VI. 水道料金について

1. 水道料金に関する認知内容

○ 水道料金に関する認知内容では、「水道料金は、2か月に1回検針して2か月分を一括請求していること」が 87.5%と9割近くに達する。次いで「水道料金を請求するときには、下水道使用料も合わせて請求していること」78.5%、「水道水の価格は、ペットボトル水に比べて非常に安価であること」61.9%、「水道事業は水道料金収入を主な財源としていること」56.3%までが5割を超える。

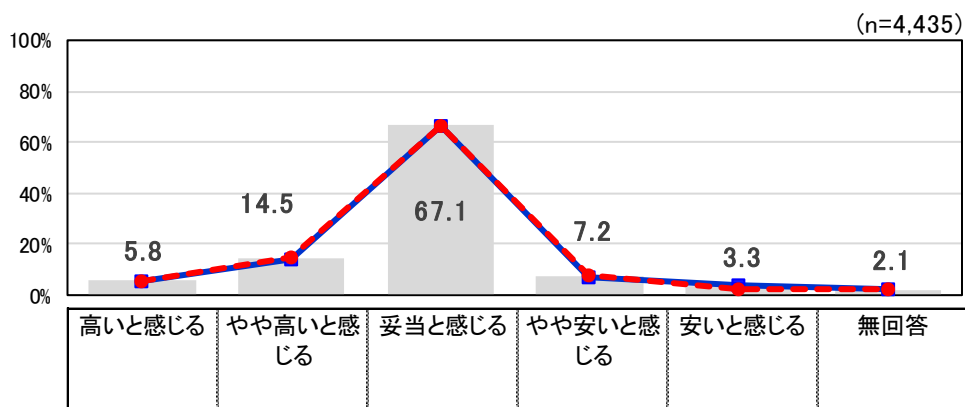
問21. 水道料金について、次のうち、知っていることはどれですか。【当てはまるもの全てに○】



2. 水道料金の水準

○ 水道料金の水準では、「妥当と感じる」が 67.1%と7割近くに達している。「高いと感じる」(5.8%)と「やや高いと感じる」(14.5%)を合計した「高いと感じる(計)」は 20.3%で、「安いと感じる」(3.3%)と「やや安いと感じる」(7.2%)を合計した「安いと感じる(計)」は 10.5%とほぼ1割となっている。

問22. 東京都の水道料金は約20年間改定していませんが、現在の水準についてどのように感じていますか。(注:消費税改正に伴う改定を除く)【1つだけに○】



3. 水道料金が高いと感じる理由

○ 水道料金が高いと感じる理由では、「家計に占める割合が高いから」が 50.2%と5割で最も高く、次いで「2か月分をまとめて支払うから」(24.6%)、「下水道料金と合算して請求されるから」(23.2%)までが2割を超える。

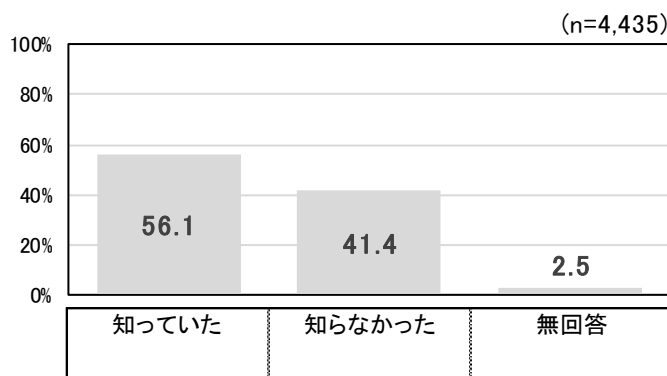
問22-1. 水道料金を高い・やや高いと感じる理由は何ですか。【当てはまるもの全てに○】



4. 特別措置の認知度

○ 特別措置の認知度では、「知っていた」が 56.1%で5割台半ばとなり、「知らなかった」の 41.4%を上回った。

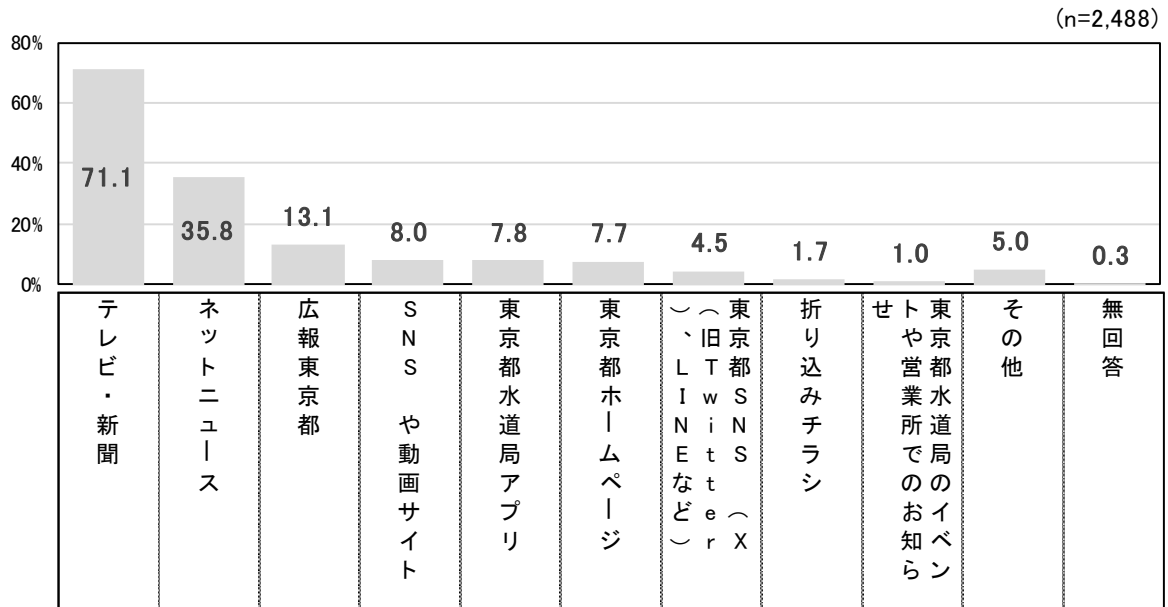
問23. 東京都では、今夏の特別措置として、水道事業に影響のない方法により、水道の基本料金を無償としました。この特別措置を知っていましたか。【1つだけに○】



5. 特別措置の認知経路

○ 特別措置の認知経路では、「テレビ・新聞」が 71.1%と7割超えとなり、次いで「ネットニュース」が 35.8%、「広報東京都」が 13.1%と続いた。

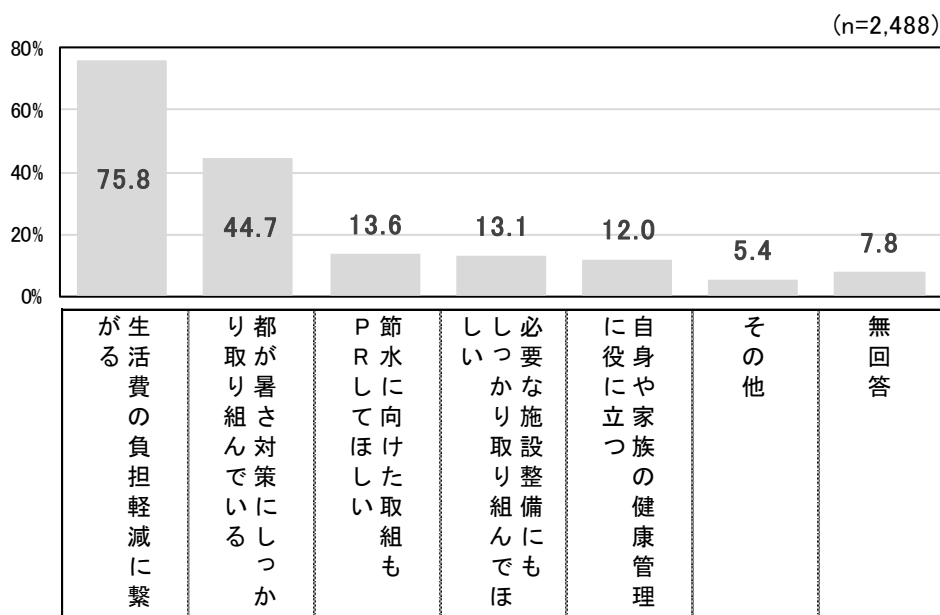
問23-1. この特別措置を何で知りましたか。【当てはまるもの全てに○】



6. 特別措置実施の印象

○ 特別措置実施の印象では、「生活費の負担軽減に繋がる」が 75.8%と7割台半ばとなり、次いで「都が暑さ対策にしっかり取り組んでいる」が 44.7%、「節水に向けた取組も PR してほしい」が 13.6%と続いた。

問23-2. 特別措置の実施を知ったとき、どのような印象を持ちましたか。【当てはまるもの全てに○】

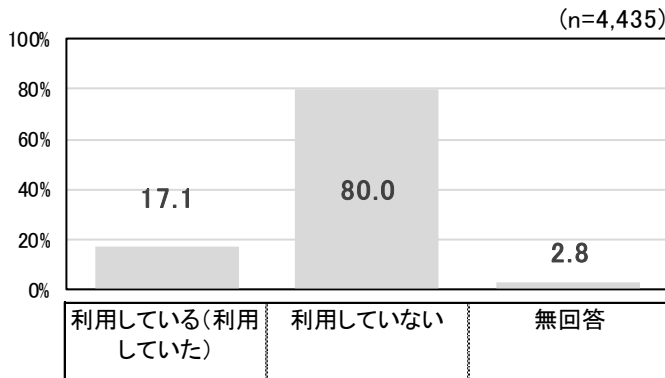


VII. 広報等

1. スマートフォンアプリの利用状況

○ スマートフォンアプリの利用状況では、「利用している(利用していた)」は 17.1%と2割近くにとどまる。

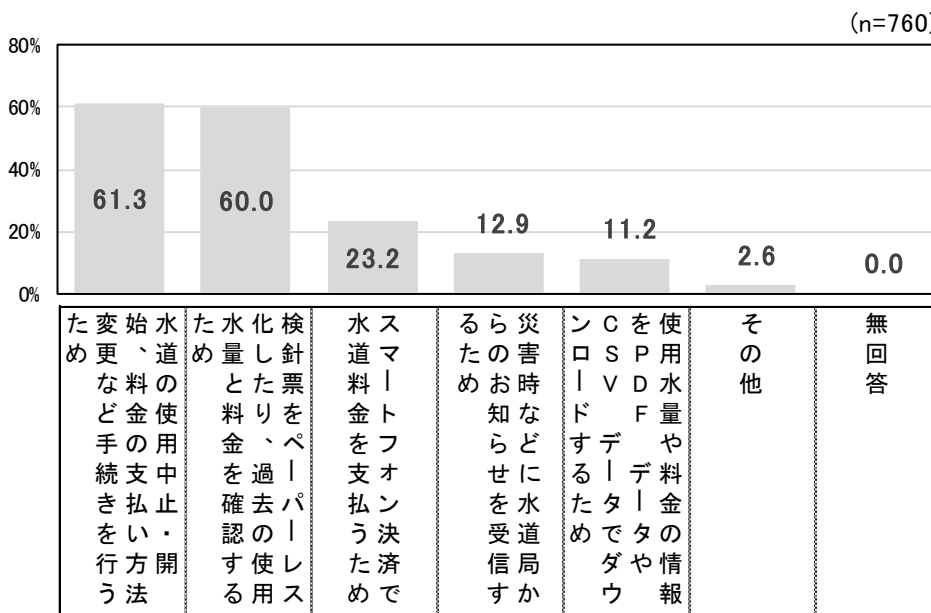
問24. 東京都水道局では、「東京都水道局アプリ」(iOS・Android・WEB に対応)を導入しました。こちらのアプリ(パソコン版を含む)を利用していますか。【1つだけに○】



2. スマートフォンアプリを利用した理由

○ スマートフォンアプリを利用した理由では、「水道の使用中止・開始、料金の支払い方法変更など手続きを行うため」が61.3%で最も高く、次いで「検針票をペーパーレス化したり、過去の使用水量と料金を確認するため」が 60.0%、「スマートフォン決済で水道料金を支払うため」が 23.2%と続く。

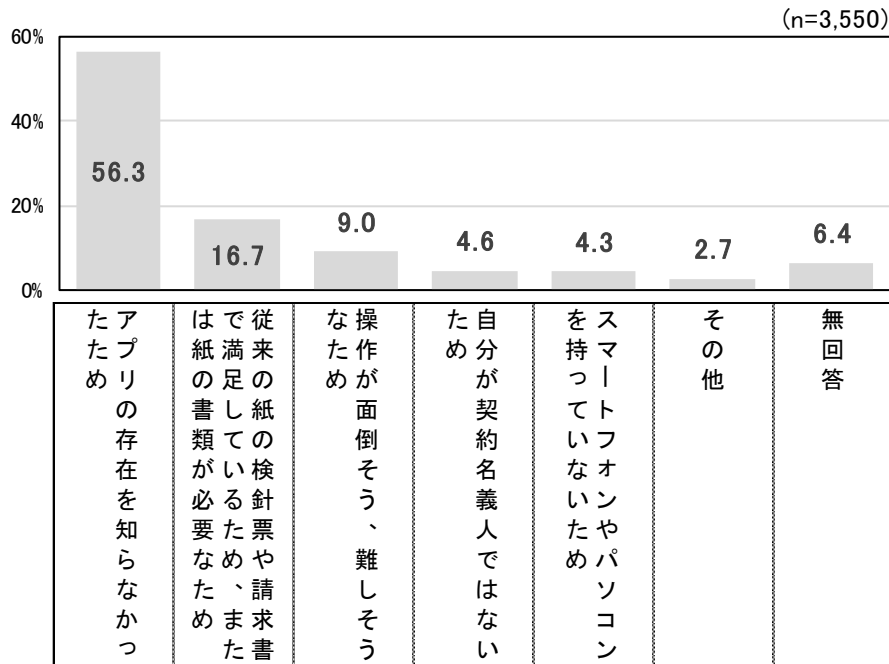
問24-1. アプリ(Web を含む)を利用した理由を教えてください。【当てはまるもの全てに○】



3. スマートフォンアプリを利用しない理由

○ スマートフォンアプリを利用しない理由では、「アプリの存在を知らなかったため」が 56.3%と最も高く、次いで「従来の紙の検針票や請求書で満足しているため、または紙の書類が必要なため」が 16.7%と続く。

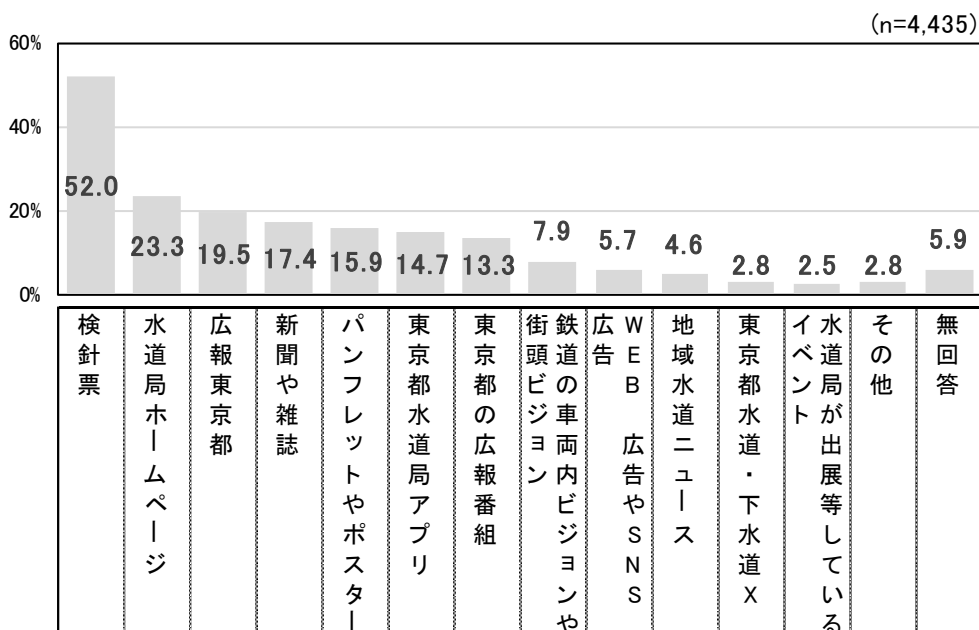
問24-2. アプリ(パソコン版を含む)を利用しない理由を教えてください。【1つだけに○】



4. 水道事業に関する情報の入手媒体

○ 水道事業に関する情報の入手媒体では、「検針票」が 52.0%と最も高く、次いで「水道局ホームページ」が 23.3%と続く。

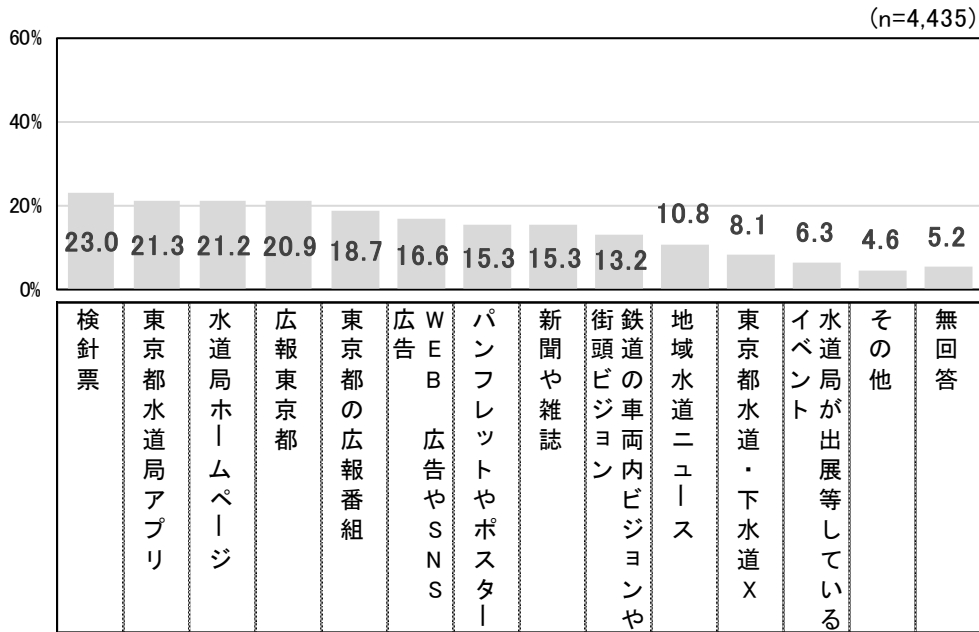
問25. 水道事業に関する情報について【入手したことがある媒体】をすべて教えてください。【当てはまるもの全てに○】



5. 今後力を入れてほしい媒体

○ 今後力を入れてほしい媒体では、「検針票」が 23.0%で最も高く、「東京都水道局アプリ」(21.3%)、「水道局ホームページ」(21.2%)、「広報東京都(広報紙、Web)」(20.9%)までが2割を超えている。

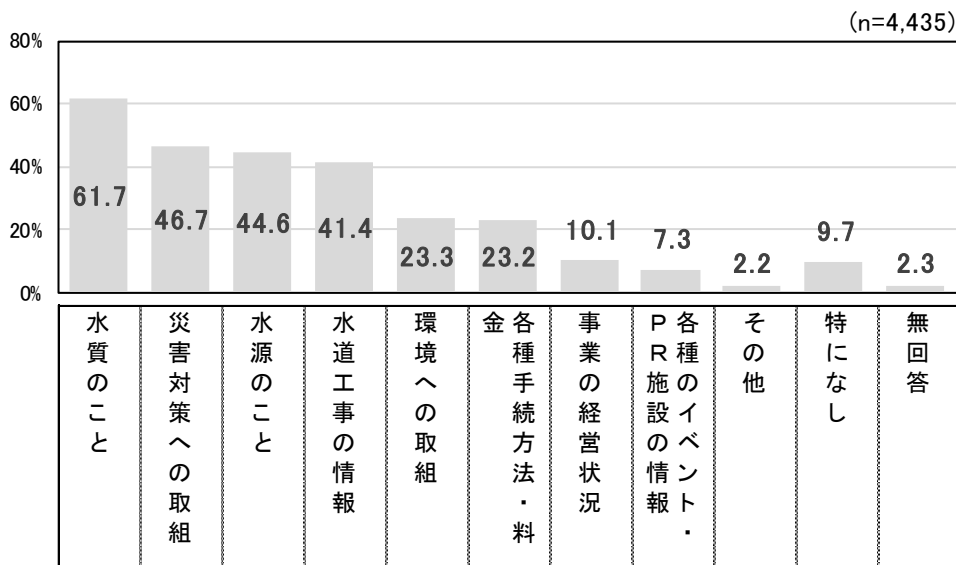
問26. 水道事業に関する情報について【今後、力を入れてほしい媒体】をすべて教えてください。【当てはまるもの全てに○】



6. 水道事業に関して知りたい情報

○ 水道事業に関して知りたい情報では、「水質のこと」が 61.7%と最も高く、「災害対策への取組」(46.7%)、「水源のこと」(44.6%)、「水道工事の情報」(41.4%)までが4割を超える。

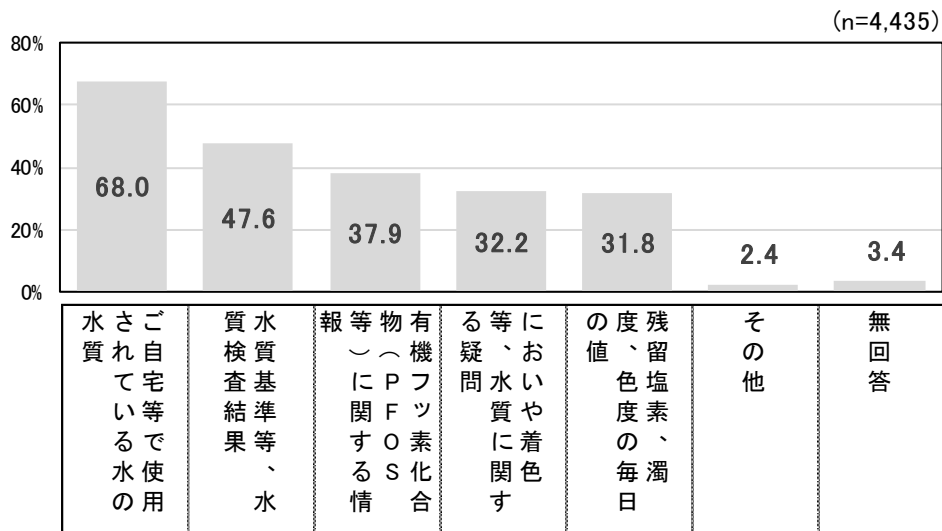
問27. 水道事業に関して知りたい情報はありますか。【当てはまるもの全てに○】



7. 水道水の水質に関する関心

○ 水道水の水質に関する関心では、「ご自宅等で使用されている水の水質」が 68.0%と最も高く、次いで「水質基準等、水質検査結果」が 47.6%、「有機フッ素化合物(PFOS 等)に関する情報」が 37.9%、「においや着色等、水質に関する疑問」が 32.2%、「残留塩素、濁度、色度の毎日の値」が 31.8%と続く。

問28. 水道水の水質に関しては、水道局 HP にてお知らせしているところですが、お客さまが興味をお持ちの項目は何ですか。【当てはまるもの全てに○】

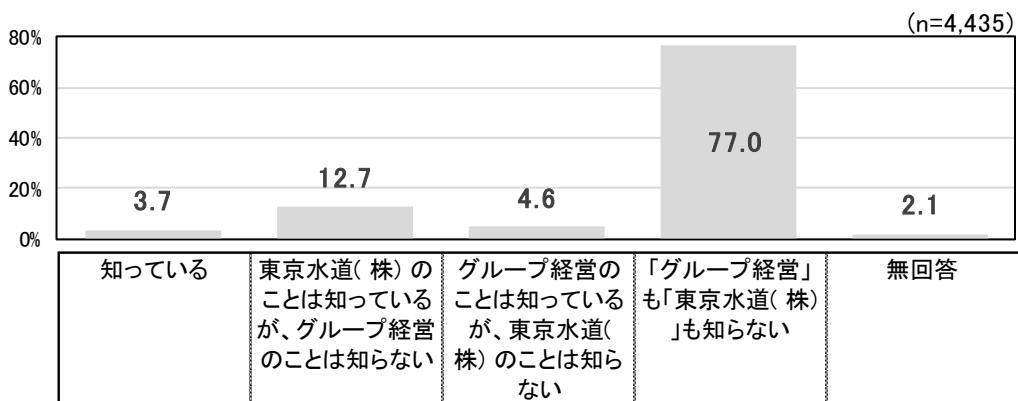


VIII. その他

1. グループ経営の認知度

○ グループ経営の認知度では、「グループ経営も東京水道(株)も知らない」が77.0%と8割近くとなっている。
 「知っている」は3.7%にとどまり、「東京水道(株)のことは知っているが、グループ経営のことは知らない」(12.7%)と合計した「東京水道(株)認知(計)」でも16.4%、「グループ経営のことは知っているが、東京水道(株)のことは知らない」(4.6%)と合計した「グループ経営認知(計)」は8.3%と1割にとどかない。

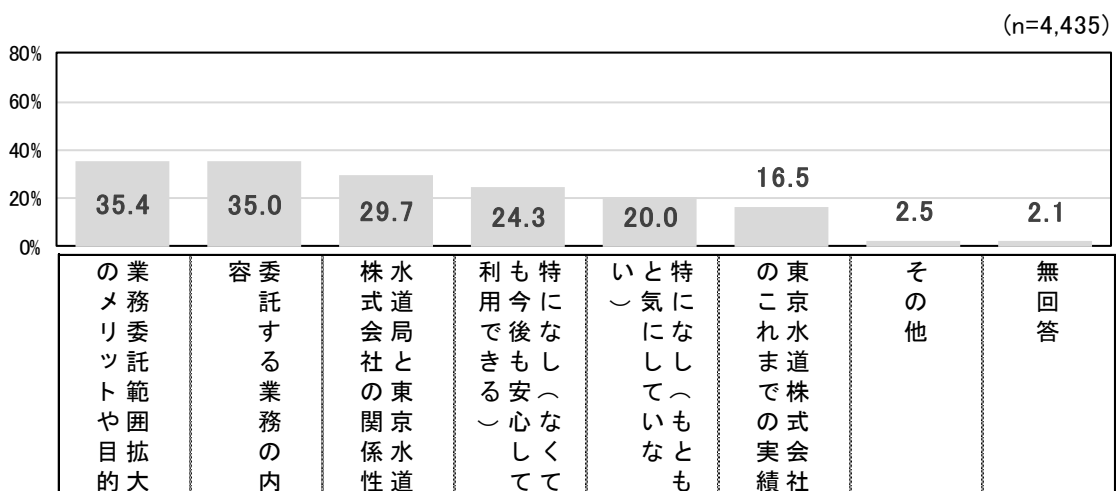
問29. 水道事業における重要な業務は、水道局と政策連携団体(※)である「東京水道株式会社」が担っています。水道局と東京水道株式会社は、互いに連携して水道事業を担っていく「グループ経営」を推進していますが、ご存知ですか。【1つだけに○】



2. グループ経営に関して知りたい情報

○ グループ経営に関して知りたい情報では、「業務委託範囲拡大のメリットや目的」(35.4%)と「委託する業務の内容」(35.0%)が3割台半ばでほぼ同率で並ぶ。「水道局と東京水道株式会社の関係性」(29.7%)も3割となっている。

問30. 水道局は、営業所業務や工事監督業務などを東京水道株式会社に業務委託しています。また、今後も「グループ経営」の中で、東京水道株式会社へ業務委託する範囲を拡大していきます。こういった中で、引き続き、安心して水道水を利用いただくためには、どのような情報を知りたいと思いますか。【当てはまるもの全てに○】



IX. 水道事業に関する意見や要望

○ 水道事業に関する意見・要望を自由に記述していただいたところ、1,096 人の方から貴重な意見をいただいた。(抜粋して記載)

水質に関するご意見等 (150 件)

- ・ これからもPFAS等の安全性を正直に伝えていって欲しいです。
- ・ 今は水を買う時代。東京の水は安心して飲めるので安心。お風呂の水も食器洗いも飲める水を使っているのはとてもほこらしい。
- ・ 子供が小学生の頃に、社会科見学で水道局について学び、そのパンフレットや、話を聞きました。東京の水がしっかり管理され、きれいでおいしい水なのだとなり、今でも安心して使用(そのまま飲んでます)でも、子供がいなかったら、その安全性等も知らなかったかもしれません。
- ・ 同じ市内(東村山市内)でも、地域によって水道水の味が大きく違います。「まずい」水にがっかりします。どうぞ『安心・安全なおいしい水』を、広くあまねく供してくださいませようをお願いいたします。
- ・ 時々塩素の臭いが強いと思う事があります。
- ・ 安心して飲めるようにしてほしい。(毎月ペットボトル代がたいへんです)
- ・ 今迄は金町の水道が最低と伺っていましたが、現在は皆様の努力のお蔭で、一番おいしいお水だと聞き安心して水道水を頂いています。
- ・ お風呂、シャワー等を利用して感じていること。肌のあたり(薬品のせいかな?)肌がかたくなる感じがある。安全なのだろうけど…心配もある。
- ・ 現状の水質・水量の維持と、水道管などの整備点検事業を安定的に持続して行ってほしい。
- ・ 有機フッ素化合物について心配しています。多摩地区は高い数値が検出されています。今後の解決に向けての道筋を公表して欲しい。
- ・ 東京の水道水は安全である。ペットボトルで水を買うより、水道水をわかして麦茶等に利用する方が、経済的にも有効であります。
- ・ 水質の良い水を提供してもらえて助かっている。
- ・ 安心して水道水を使っています。のみ水としては、サーバーの水を使っています。
- ・ 水道水の「安全性」について(問9)、どうしても不安がありペットボトル購入、ウォーターサーバー利用を続けていますが、絶対大丈夫！絶対安心です、美味しいです。と確信できるようになれば、水道水を利用したいと思っています。
- ・ 安全・安心の水を届けてくれる為の御努力・研鑽に感服してます。当地域の水は、都心よりも冷たくて美味しいと思いますが、このところPFOSの問題が起きてます。この点を不安の無いよう検査して頂きたいと思っています。

広報に関するご意見等 (72 件)

- ・ 有機化合物等の情報はもっと早く教えてほしかった。
- ・ 災害等、断水時の給水体制がどのようになっているかパンフレットで知らせてほしい。
- ・ ダムの量が足りない事など、水の環境の厳しさを考えると、もう少しアピールをしてほしいです。
- ・ 世界的にみて、水道の水が飲める事は素晴らしいので、世界にもっとアピールと、世界に出て行く事も必要ではないか。せつかくすばらしい物をもっているのだから日本だけであるのはもったいない。
- ・ ホームページに情報を載せても、日常ホームページを見る機会は少ないため媒体を使って情報発信してほしい。(電車や雑誌広告など)

- ・ 古い埋設配管の情報公開、エリアの供給系路はどの資料に書いてあるのか。
- ・ 広報紙等がアプリ等よりもムダと思われがちですが、パソコンがダメな人も多くなります。

運営、取り組みに関するご意見等 (91 件)

- ・ 水源が安全で安心できる業者にまかされて継続していけることを望みます。PFOAなどが除去できることを望みます。
- ・ 3ヶ月間、水道の基本料金無償の取り組み、大変良かったと思います。
- ・ 公営事業である事を忘れないでほしい。民業→外国企業とならないように。
- ・ 民営化は絶対やめてほしいです。
- ・ 既得権益に捉われずに、利用者と環境のことを第一に考え、事業を進めてください。
- ・ 基本的に別会社化は大反対です。水道局の直接運営を望みます。
- ・ 水道の基本料金の無償は良かったです。東京都民で良かったです。これからも、安全な水をよろしくお願い致します。
- ・ 水道局は本来自分の所でやってほしい。業務委託は最少限にするのがよい。
- ・ 水道は安全性だけでなく、継続性や管理の徹底が必要だと思う。株式会社などが運営するメリットもあるかもしれないが、長期で考えた時に不安定になるのではと懸念がある。

災害対策に関するご意見等 (20 件)

- ・ 災害の時の水不足、不安です。学校で話してもらおう機会あるといいと思います。
- ・ 阪神淡路地震の時被災したが、比較的早く水道が復旧したエリアに住んでいたので助かった記憶がある。水と食料はかせない物なので、東南海・南海地震が懸念されているからこそ、災害時への対応・サービスをお願いしたい。
- ・ 給水ステーション、緊急のときの分配の公平性を望みます。強いもの勝ちの時代、迷惑な人が必ず出没します。

水道管・給水装置の老朽、対策等や工事に関するご意見等 (89 件)

- ・ 全国で上下水道の設備の老朽化がニュースで報道されています。将来の水道供給の安定性確保のために引き続き、よろしくお願いします。
- ・ 水道管の老朽化は深刻な社会問題になっていますが、なるべく早く工事がすすめられる事を望んでいます。その為に料金が多少上っても、しょうがないと思っています。
- ・ 水道管の老朽化や気候変動等のせいで色々事故が多発していますが、これからどうやって対処していくのか心配しています。
- ・ 自宅内の配水管の老朽化が心配。
- ・ 水道管が破裂しないようにメンテして欲しい。
- ・ 水道管の老化が心配です。安全・安心を引き続き追及してほしい。
- ・ 築年数そろそろ50年目、水道管の鉄サビ等のよごれが気になる。
- ・ 水道管が古くなり新しい管と交換するには多額のお金と歳月がかかる様ですが、現状がどうなっているか気になります。
- ・ 東京都の上水道をすべて耐震管に取り替えて頂きたいです。古い管は地震に弱いので心配です。

料金に関するご意見等 (40 件)

- ・ トイレ用水道水の料金を無料にして下さい。
- ・ 経営体質を改善し、より安価な水道代を実現するよう努力をお願いしたい。
- ・ 日本も庭にまく水は飲料水と区別すればすこしは水道料金が安くなりませんか？
- ・ 昔から、なぜ2ヶ月分の請求なのか？

環境対策、水源確保・管理に関するご意見等 (41 件)

- ・ 異常気象なので、夏季の水不足や河川状況等の情報があると良いと思います。(現在も情報提供していただらずみません…)
- ・ 温暖化により雨が降らないのは、今後の日本の気になるところ。水を作ることはむずかしいと思うので、やはりSTOP温暖化につながるのかなと思う。
- ・ 水源がきれいであること。(水源地の保有を拡大すること)水道局が責任を持って水質を保全していると信じて、使っています。施設(水道管も含め)維持管理もしっかりやって欲しい。
- ・ 水道事業は生存に特別重要であるので、安全安心のための経営を続けて頂きたい。特に水源地の確保をしっかりお願いしたい。外国資本(中国系)に買収されないようお願いします。
- ・ 山が造成されていく様子を悲しく思います。水源が守られる環境整備を期待しています。

具体的な施策への要望 (30 件)

- ・ 東京都水道アプリに関して、スマートメーターで水量を照会できるが、前日の水量までしか見られない。当日若しくはリアルタイムで水量を見られるようにしてほしい。
- ・ アプリは良くできていますが、東京電力のようにポイントが欲しいです。
- ・ 夏休み中に出っぱなしになっている水道があるので、一定時間出したままになっていたら止まる様な仕組みがあるとムダが防止できると思います。
- ・ 浄水場見学会などあれば良い。小学・中学・大人向けに。

検針に関するご意見等 (15 件)

- ・ スマホやパソコンがなく、検針票を確認できなくなってしまったので、引き落とされるまで、料金がいくらかわかりません。できることなら、検針票を復活させてほしいです。
- ・ 2ヶ月に1度(10年以上よ！)、いつも同じ方に測って頂き、とても親切に鍵を閉めて頂いたり、会話をして頂き、ありがたく思っております。
- ・ 大変だと思いますが今後とも宜しくお願い致します。検針の方達、事故のないように！
- ・ ネットへのシフトは、やむを得ない時代とは思いますが、検針票は残してほしい。使用量の確認は、紙ベースが確実。ネットだと見なくなると思う。(電気、ガス→ネットになってから見ていない)

謝意・応援・励まし (323 件)

- ・ 生きていくのに絶対に必要な水を供給して下さる水道局・水道事業のことなど意識したことがなかったと気づかされました。いつもありがとうございます。
- ・ 山間部の大自然には負けますが、「東京の水は美味しい！」と耳にすることもあります。いつもありがとうございます！今後も安心・安全が第一であってほしいです。
- ・ これからも安全な水を常に供給出来るよう頑張ってください。いつもありがとうございます。
- ・ 水道水がそのまま飲める国に住めて幸せです。
- ・ 日本の水道水は安全なものでありますので、何も心配はしておりません。
- ・ 毎日、給水有難う御座居ます。上水道・下水道等に事故のない様に頑張ってください。
- ・ この夏、漏水判明。水道局から連絡を受けて知ることが出来ました。トイレ新規交換します。(経年劣化のトイレタンクの不調が原因とわかった。水道料金が例年や季節でもほぼ変化がなかったので気付かなかった。ありがとうございました。)
- ・ 日本は水を好きなだけ使えてすごいと思います。外国ではそうはいきません。本当にありがとうございます。
- ・ 水道事業に対し、意識が低いことを実感しました。水道局の方々が妥協せず取り組んでいただいていることで、安心しておいしい水が飲めることに改めて感謝いたします。ありがとうございます。
- ・ 感謝しながら使用しています。これからも増々この気持を忘れずに過したいです。ありがとうございます。

今回の調査についてのご意見等 (197 件)

- ・ 水道局について知らない事を知る機会となりました。
- ・ 水道事業について、あまりにも無知だったことを感じました。水はとても大切なものなので、これから興味をもって情報を知りたいと思います。
- ・ 初めてアンケートを受けとった。あたり前の水、生活にかかせない水を考える良いきっかけになった。水を大切にしようと思う。
- ・ この度のアンケート調査で日頃「東京都の水道事業」に関心が浅かった事を反省し「水」を大切に頂きます。
- ・ 東京都水道局アプリについては、今回のアンケートで初めて知りました。今後、利用してみます。Ⅲ危機管理対策・Ⅳ環境対策についても触れることになり、良い機会となりました。
- ・ アプリ、水源地ふれあいのみちなど、知らなかった事が知れて良かった。
- ・ 知らない事の方が多かった。アンケートでHPの事やアプリなど情報が知れてよかった。
- ・ アンケート項目が多い。
- ・ 個人情報の記入の必要がない点や(返信用封筒を含む)、切手の準備の必要がないので回答しようと思った。
- ・ 普通に水道水が使える事には、感謝しかありません。このアンケートのおかげで“水”について考える事が出来ました。

その他のご意見等 (28 件)

- ・ 水道水とは関係ないかもしれませんが、下水道の劣化が心配です。
- ・ 水道水が美味しい建物分かるマップ等があると引越しの参考になるのでありがたいです。
- ・ 山歩きで水源をみたりしております。